

4 小麦・大豆の国産化の推進

【令和6年度予算概算決定額 50（90）百万円】
（令和5年度補正予算額 13,000百万円）

＜対策のポイント＞
産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**や民間主体の**一定期間の保管**、**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

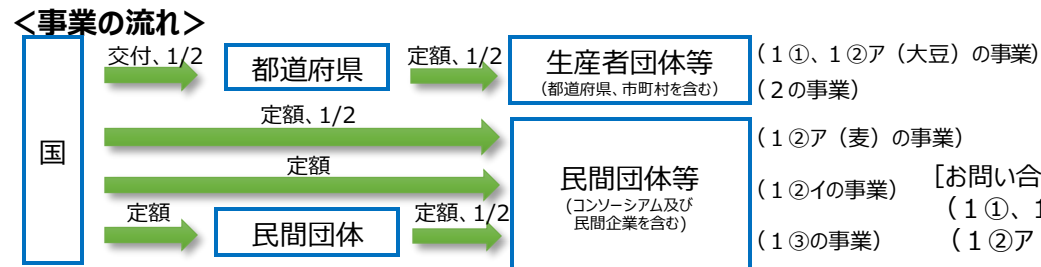
＜事業目標＞ [平成30年度→令和12年度まで]
○ 小麦生産量の増加（76万t→108万t） ○ 大麦・はだか麦生産量の増加（17万t→23万t） ○ 大豆生産量の増加（21万t→34万t）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策
- ① 生産対策（麦・大豆生産技術向上事業）47（90）百万円
【令和5年度補正予算】4,500百万円
麦・大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術の導入**等を支援します。
- ② 流通対策3（－）百万円
【令和5年度補正予算】430百万円
- ア 麦・大豆供給円滑化推進事業
国産麦・大豆を**一定期間保管**することで、安定供給を図る取組を支援します。
- イ 新たな麦・大豆流通モデルづくり事業
麦・大豆の流通構造の転換に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。
- ③ 消費対策（麦・大豆利用拡大事業）【令和5年度補正予算】70百万円
国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**や**マッチング**等を支援します。

2. 産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策（麦・大豆）
【令和5年度補正予算】8,000百万円
- 国産麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**農業機械や乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**等を支援します。



1. 生産対策



営農技術の導入（定額） 農業機械の導入（1/2以内） 乾燥調製施設の整備（1/2以内）

2. 流通対策



・ストックセンターの整備（1/2以内）
・一定期間の保管（定額、1/2以内）

3. 消費対策



・新商品の開発（定額、1/2以内）
・加工設備・施設の導入（1/2以内）

麦・大豆の国産化を一層推進